

愛隣館通信

# あいめーる

秋号

平成 23 年 9 月 1 日発行  
発行  
社会福祉法人 愛隣園  
障害者支援施設 愛隣館  
発行責任者 三浦貴子  
編集 広報チーム  
キャリアピジョン

〒861-0551  
熊本県山鹿市津留 2022  
TEL (0968)-43-2771  
FAX (0968)-43-2793  
http://aileans.com  
E-mail  
ailins@ku.magma.ne.jp



(写真上 山鹿市中心街にあるケアホーム・ぴあハウス昭和町)

## ぴあハウス昭和町開設

平成二三年五月、「施設を出て地域で暮らしたい」「実家から自立したい」などの、利用者のニーズに應える形で、山鹿市中心部のアパートの一室を借用。

ケアホーム・ぴあハウス昭和町がオープンしました。

アパート内の、和室(六畳二間)・洋室(六畳一間)、玄関、台所、リビング、トイレ、浴室を各種バリアフリーに改装。

障がい者が安心して生活を営むことが出来るよう、ぴあハウス昭和町は、住まいの場の提供、日常生活の支援を目的として開設されました。

### 目次

表紙・ぴあハウス昭和町開設 .....	1
二〇一一年夏 .....	2
サービス管理責任者の役割 .....	2
ケア課 .....	2
看護課 .....	3
訓練・アクティビティ課 .....	3
食生活課 .....	3
あいめーる広場(愛隣館行事等) .....	4・5
利用者・家族の声 .....	6
新入居者紹介 .....	7
新職員紹介 .....	7
編集後記 .....	8



施設長

三浦 貴子

熊本恒例の、音を立てて降る豪雨のあとに、今年の長い夏は訪れました。

しかし、集中することが多々あり、夏を感じぬ間に過ぎようとしています。

震災被災地の今の様子を映像で見る度に、訪ねた時の石巻市沿岸工場地帯の臭気に隣接して半壊の家々が拡がり、生活のあかりが灯る光景を思い出し、胸が詰まります。

先日、介護保険制度創設以来初めて、サービスの申請と支給量が下がったというニュースに触れ、震災の大きさを、失われた生命と資源の数を改めて思い知りました。特に東北三県（岩手・宮城・福島）で、低下しているそうです。

また、所属している内閣府の障害者制度改革推進会議総合福祉部会では、被災地の在宅障害者の安否確認は極めて難しかったけれども、障がい者関係二七団体の情報からの分析によると、障がいのある人々の死者・行方不明者の割合は、一般と比べて少なくとも二倍以上という数字が推計できると、という話を伺いました。

二〇一一年は、忘れてはならない、これからずっと私達の意識と行動の基点となる年だと思っています。

六月末から、愛隣館と地域活動支援センターあぴあは、全国身体障害者施設協議会の「震災支援 T シャツ事業部」としてフル稼働しています。

全国から一万枚以上の注文を頂き、被災地障害者支援活動資金として現在一千万円の支援金を積み上げることができました。発注頂いた事業所や個人など、すべての方々にお礼の電話をかけていますが、「自分達に出来る支援で嬉しく感じている。企画してくれてありがとう」との言葉を何度も頂きました。

「ささえあおつ日本」のメッセージ T シャツを通して、今夏、新たなつながりが生まれたことに感謝しています。

### サービス管理責任者の役割



サービス管理責任者

中村 武光

生活ケア部のサービス管理責任者は、私と田中裕一とが務めさせていただいております。

入居者の皆様それぞれの目的と課題に添って、入居者の生活意向をどのように考え、スタッフ支援していくか、自立支援と介護支援の難しさを改めて痛感しているところです。

施設長の考えや思いをしっかりと理解し、サービス管理責任者の立場として、サービスの変革を分かり易く入居者の方に伝え、一年間の目標をしっかりと持った支援計画が、自立を目指すものとなるような根拠でありたいと願っています。

スタッフ意識として、これからも介護への信頼は、思いやりの積み重ね、積み上げと感じています。

### ケア課



サービス管理責任者

田中 裕一

愛隣館は現在七〇名の利用者の方が生活されており、二〇代から八〇代までの方が暮らしています。

平成二二年四月に、新体系へのサービス移行に伴い、入所支援、生活介護のサービスになりました。

生活介護における日中活動の、充実を図ること

を目標にして、森林浴、ホタルを見に行くツアーやお墓まいり等、個別的な支援の取り組みに力を入れていくところです。

また、ナイト浴（自立浴）を設け、毎日入浴できる環境をつくりました。

その他、短期入所事業（空床利用型）や日中一時支援事業も併せて行っており、地域に開かれた施設を目指し、取り組んでいるところです。

### 夏バテに気をつけましょう



看護課 看護師チーフ

阿部 真澄

酷暑だった今年の夏もピークを過ぎます。日没時刻も早くなり、秋が近づいてきているこの時期、いわゆる夏バテが出る頃でもあります。

日本の夏は温度・湿度共に高いので、人は身体に溜ってくる熱を捨てて、体温を一定に保とうとします。

身体は、夏の暑さを何とか対応しようと必要以上のエネルギーを消費します。かなりの負担に耐えることができるのですが、暑さに適応できず、自律神経に狂いが生じてくると、水分の循環がうまくゆかず、体温を下げることができずに熱が出

ます。

また身体はだるくなって、胃腸の働きは弱まり食欲も出ないといった症状が出てきます。そうやって無理も限界に近づき身体がバテた状態。それが夏バテです。

夏バテの対策としては、規則正しい生活で充分に睡眠を摂り、食事をしっかり食べ、こまめに水分を補うことが大切です。

### アクティビティ課



理学療法士

津田 彩

平成二二年四月一日より、愛隣館は自立支援法の新法に基づき、日中帯と夜間帯にわたるの支援体制となりました。その、日中帯の支援の一つとして、日中活動（アクティビティ）がスタートしました。

日替わりで職員が二、三名で担当し、カラオケやアート、園芸、スポーツ、映画鑑賞会、ドライブなど様々な活動を利用者と共に楽しんでいきます。

今年は二年目ということで、社会参加に目を向けながら様々な活動を行っていく予定です。

### 食生活課



栄養士

永田 美香

暑い日が続いていますが、皆様、元気にお過ごしでしょうか。まだまだ淡泊な食事（ラーメン等）や冷たい物が食べ易く、よく召し上がられているかと思えます。おいしく感じられる反面、多量に摂取された場合は、胃腸の機能を低下させ、食欲不振等を引き起こす原因となってしまう事もあります。

☆暑さに負けない食生活のポイント☆

①旬の野菜や果物を多く食べましょう。

汗をかくと体内の水分やミネラルが失われます。夏の野菜等には体を冷やす作用があり、失ったビタミンやミネラルも補給できます。

②冷たい物はほどほどにしましょう。

冷たい食物や飲み物の摂り過ぎは疲れやすくなったり、胃腸も弱くなりがちです。胃酸の分泌を良くするには、酸味、香辛料、香味野菜の活用がお勧めです。またビタミンCの多い食材には疲労防止効果もあります。

日頃の食生活を見直して、今夏の暑さを皆様で乗り切ってください。

## 祝！全国大会出場

熊本県障害者スポーツ大会

五月一日(日)熊本市のKKウイングで、第一〇回熊本県障害者スポーツ大会が、開催されました。わが愛隣館からは、千五百メートル走・五〇メートル走(車いす)などの種目に、たくさんの選手が出場しました。

写真(下)は、女子ソフトボール投げ(車いす騎乗)に出場した、永野文香選手。七メートル九センチの好記録で優勝。一〇月二二・二三・二四日に山口県で行われる、全国大会への出場権を得ました。



(写真上・大会開会式)

- 三種の投てき競技に参加する永野文香選手
- ソフトボール投げ
- 砲丸投げ
- ジャベリックスロー



## 施設親善風船バレーボール大会

ケア課

鈴木 大輔

参加をされた皆さま第三位おめでとうございます。

そして、お疲れさまでした。



(写真右・対戦中の愛隣館チーム)

五月十九日、山鹿市カルチャースポーツセンターで施設親善風船バレーボール大会が行われました。

愛隣館チームは、入居者五名、職員五名で臨み、一三年振りとなる愛隣館主催の今大会予選を、見事一位で通過、決勝トーナメントへと駒を進めることができました。

準決勝の「ゆめの里」との対戦では、愛隣館チームは善戦空しく敗れ、惜しくも三位という結果でした。

試合形式の変更により、全チームの試合数が増えた今大会では、各チームの皆さんお一人お一人が最後まで一生懸命プレーをされ、楽しまれている姿が印象深いものとなりました。



## 愛隣館デイケア二〇周年

愛隣館生活介護事業所デイケアは、平成三年六月、身体障害者デイサービスセンター(普通型・創作活動重点型)として開設され(平成八年四月、介護型へ変更、平成一八年一〇月、生活介護事業所へ移行)今年で、開設二〇周年を迎えました。一二月四日には、記念式典の開催が予定されています。



(写真・陶芸教室)

## セタのタペ

七月に入り、今年も愛隣館・デイケア・愛隣倶楽部には、恒例となったセタ飾りの笹が立てられると、次々と願いごとを書いた短冊を笹に付けておられました。

少し覗いてみますと、自分や家族の健康を願う短冊や、「一度でいいから三億円」など想いを込めた短冊が多くあり、最も印象に残ったのは「今のままずっと元気になりたい」という一枚でした。

セタのタペのイベントとして昼食は、皆が待ちに待ったバーベキューでした。職員の方々が手際よく焼いて下さり、皆さんの美味しい顔や笑い声が溢れる楽しい一時でした。皆さんの願いごとが叶いますように☆



## 施設親善オセロ大会

デイケア利用 福原 隆博

六月一日(水)、山鹿市カルチャースポーツセンターで、熊本県二施設「利用者親善オセロ大会二〇一」に、愛隣館の代表として、館内予選を勝ち抜いた選手五名とともに参加しました。

この大会は、私自身二回目の参加。ほかの施設の中には、顔なじみの人も多数参加していました。

各試合、強敵との対戦ではありませんでしたが、ある試合で、運よくパーフェクト(相手方の石の色が〇になる)を達成でき、賞もいただきました。

オセロは「劣勢であっても、わずか一手で逆転、勝利することができる」ところに醍醐味があり、試合中一寸たりとも気を緩めることができません。

この大会は、毎年開催されます。皆さん、次回はずいぶん一緒に挑戦しましょう。



(写真上・対局中の福原隆博選手)

利用者からの手紙



デイケア利用

林 美智子

貴子館長さんへ

いつもお世話になっております。

三月に、「ありがとうの日」募集へ、『ありがとう  
デイサービス』と、『生き生きして若返るよ。テ  
イの兄ちゃん』と書いて、ハガキで出して、そし  
て忘れていたら六日の母の日に、入選の知らせと、  
ありがたいの賞品が送られてきました。

ありがたいの色々な絵があり、とても嬉しかっ  
たので、一枚ですけど何かにお使いください。

また私でする事があれば努力します。

デイの皆さんがすくく良くなって下さるので感謝  
しています。

(右記の文は、デイケアご利用中の林美智子様より  
三浦館長に届けられたお手紙を掲載しています。)



(写真上・賞品の  
レターセット)

利用者の声



デイケア利用

木庭 英昭

多機能型ケアホーム「ぴあハウス昭和町」に五  
月一日の開設と同時に入居しました。洋室・和室  
がありますが、私は、昔から畳の部屋に慣れてい  
るので、和室(六畳)を選びました。

一人部屋なのでゆっく  
りくつろぐことができ、  
趣味のパソコン(インタ  
ーネット)やテレビ(野  
球放送など)を見るなど  
して楽しんでいます。

また、食事(朝・夕)  
は、別室のリビングで、  
他の入居者の人と一緒に、  
いろんな話をしながら  
おいしくいただいています。



愛隣倶楽部利用

河野 敏之

愛隣倶楽部を利用して頂いて、いいな、楽し  
いな、と思うひとは昼食時だ。

利用者とスタッフが交互に席をとり、介護をさ  
れる人も、する人も同時に食事をする。

「と、共にする」と言うことがゆっくりとして、  
また笑って吹き出すような楽しい雰囲気をつくる  
のではないかな。

先日テレビで「あなたが食べるように食べさせ  
て欲しい」と言っていたが、そうしたことが倶楽  
部では出来ている。

これは、食事だけではあるまい。

家族の声



利用者家族

山口 博美

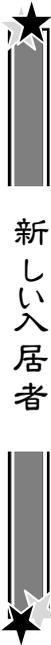
娘さとみが愛隣館にお世話になってから二〇回  
目の夏を迎えました。

これまで何度も入院や手術、生命を危ぶまれた  
時もありましたが、今は元気で毎日を一生懸命頑  
張っています。

この三月から週に二日、愛隣倶楽部に通うよう  
になり、さとみにとって大きな楽しみが生まれ  
ました。新しい出会いと、雰囲気や生活のリズムが変  
わり、より一層いきいきと楽しそうにしている姿

を見ますと、私の方が癒され、とても幸せを感じます。

なごみは、私の宝であり、誇りです。この笑顔がずっとずっと続きますように...と、心から願っています。



### 新しい入居者

平成二三年二月二日入所

大塚 文雄

二月二日よりお世話になっていきます。大塚文雄です。荒尾市出身で五三歳です。

愛隣館に入所して半年が経ち、生活にも随分なれました。

日中活動で、ゲームやスポーツ、音楽クラブ等に参加したり、見学することが楽しみです。

愛隣館の皆様、よろしくお願ひします。



平成二三年三月四日入所

荒井 清

テレビでスポーツ観戦をすることが大好きな荒井清です。他には時代劇も楽しみでよく見ていま

す。以前は、車が一番の趣味で色々な車に乗っていました。今はテレビ観賞が趣味になりました。これからは歌番組を見たり、ゆっくの風呂に入りたいと思っています。よろしくお願ひします。



平成二三年三月二三日入所

古閑 博信

こんにちは、古閑博信です。私は子供の頃から釣りが好きで、自宅近くの菊池川での鯉釣りを楽しむ以外にも、天草、大分と海釣りへよく出掛けていました。

アクティビティでパソコン教室に参加しています。他には体調が許す限り、訓練室で平行棒を使った歩行訓練を行い、食事前には館内を車イスで周回し、筋力と体力の維持に努めています。



平成二三年五月六日入所

志水 公則

趣味がスポーツ観戦と映画鑑賞の志水公則です。アクティビティでは、カラオケに楽しく参加しています。

愛隣館の生活にも慣れ、皆様に支えられてとても感謝しております。自分なりに一日一日を大切に過ごしております。



平成二三年五月二日入所

竹下 直光

愛隣館に入居して三ヶ月になります竹下直光です。入居して日も浅く、まだ分からないこともありますが、皆様どうぞ宜しくお願いします。

最近、週一回アクティビティのパソコン教室に参加しています。始めたばかりで、現在は文字の入力練習中ですが、インターネットやメールが自在にできるようになりたいと思っています。



### 新人職員紹介



食生活課

早野 由美

今年五月よりお世話になっております。早野由美です。

愛隣館で食生活課を担当し、不安で一杯でしたが、職場の皆様の優しいご指導と、入居者の方々の笑顔に励まされ楽しく仕事をさせていただきましたことに感謝しております。

今後とも、入居者の皆様に喜んでいただける食事に努めたいと思いますので、宜しくお願い致します。



地域活動支援センターびあびあ  
松見 尚寛

六月二三日より愛隣館で勤務させていただきました松見尚寛と申します。

只今、四歳と六歳の男子の子育て奮闘中です。

現在は、地域活動支援センターびあびあにて、震災復興支援 T シャツの作業等を利用者の皆様と共に取り組んでいます。

全国各地からご注文、ご好評の声を頂き、忙しいながらも充実した日々を送っています。

プラザにお越しの際は、是非、びあびあにお立ち寄りください。



ケア課  
田中 美香

四月より愛隣館でお世話になる事になりました田中美香と申します。

今も沢山学んだり、勉強したりしながらの日々で大変ですが、利用者の方や職員の方と接しながらとても楽しく充実した日々を過ごしています。

今まで勉強してきたことや学んだことが生かしているよう、自分のペースではありますが、しっかりと頑張っていきたいという思いで一杯です。よろしく願います。

### 編集後記

愛隣館に広報チームが誕生しました。「広報チーム・キャリアプロジェクト」(伝書鳩という意味)です。ホームページの作成と更新、並びに、愛隣館の季刊紙である「あいめーる」の発行が仕事です。

広報チームは愛隣館の利用者五名で構成されたスタッフにより運営しています。不慣れではありますが、スタッフ一同、一丸となり、皆様に喜んでお読み頂くことができるような季刊紙にして参りたいと考えております。

また、平成二三年五月二六日、より多くの皆様へ、愛隣館各事業所の情報提供と、即時性のある情報の発信を目指して、準備を進めて参りました愛隣館のホームページ『あいらんの風』を開けました。

開設したばかりのホームページに至らぬ点多

く、今後とも皆様からのご意見を参考に良き『あいらんの風』を作ってまいりますと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ホームページを閲覧するには、インターネットブラウザを開き、「あいらんの風」と入力し、検索をするか、<http://aileans.com> と入力してご覧下さい。

### 年間行事

- 一月 初詣
- 二月 入居者自治会新年会  
バレンタイン家族懇談会  
節分行事 (豆まき)
- 三月 ひな祭り
- 四月 お花見会
- 五月 熊本県障害者スポーツ大会  
施設親善風船バレーボール大会
- 六月 施設親善オセロ大会
- 七月 セタの夕べ
- 八月 法人夏祭り
- 九月 月見の宴
- 十月 山鹿市ふれあいピック大会  
ふれあいジョギング大会
- 十一月 マインドハーモニーコンサート
- 十二月 クリスマスの集い  
餅つき